



ふぁみーゆナウ！

社長メッセージ

今年、米中貿易摩擦やコロナウィルスの影響が出ており、大変厳しい年となっております。ふぁみーゆは、景気が良くなる時に備え、品質の高いモノ作りや、改善活動を積極的に行い、ツダコマグループの期待に応えるべく、全社員が協力し新しい作業に挑戦します。また、安全で健康な笑顔のある職場とし、働きがいのある会社を目指します。

一人一人が、社会人としてのルールを守り、ふぁみーゆの社員として誇りをもって行動します。ふぁみーゆは、会社見学や実習生を積極的に受入れ、地域のモデル企業として社会に貢献します。

2021年の創業10周年に向けて、ふぁみーゆと社員が一丸となって大きく成長していきましょう。



障害者活躍企業認証を受ける！

障害者活躍企業認証事業とは？

- ✓ 障害者の障害特性に配慮した雇用管理や雇用形態の見直しやその優れた取り組みを実施している
- ✓ 障害者を多数雇用し障害者が活躍している

こうした企業を、厚生労働省から委託を受けた全重協（公益社団法人全国重度障害者雇用事業所協会）が障害者活躍企業として認証するもの

障害者活躍企業の認証基準

- ✓ 3つの要件を満たしていることが必要
 - ①障害者定着支援のための職場環境提供に向けた先進的な取組を実施していること
 - ②積極的継続的な障害者雇用を促進していること
 - ③障害者が活躍できる企業としての信頼性・社会性を兼ね備えていること

新企画！津田駒社員からの声！

総務部 M 副参事

(社内印刷・名刺印刷の窓口業務・そのほか飛込作業など)

1. 設立前の実習時に行っていた、古い図面のPDF化では、作業スピードも速く、PCからのアラームにも即座に反応・処理がされ、大変驚いた

2. 印刷物の色の濃さ等のきめ細かな対応。今後の発展を見越したアドバイス等もいただき、大変頼もしく心強く感じている

(主な業務内容)

1. 最初の頃のふあみーゆの印象
2. 一緒に仕事をして(仕事を任せて)の感想

総務部 Yさん

(給与明細仕分け)

1. 何に対しても一生懸命だなあ后感心していた
みんなとても明るい！
2. 私のミスのカバーしてもらってとても助かっています。これからも宜しくお願いします

製造第1部組立課 サブライン K 職長
(サブライン業務)

1. 健常者の作業をするということで、専用工具などの取り扱いがうまくできるか心配だった
2. 真面目に作業をし充実している印象。見習う部分が多いと思います！

製造第1部組立課 サブライン S 職長
(サブライン業務)

1. どんなレベルの作業が出来るのか、怪我など安全面に注意できるのか、言葉使いも含めて不安が多くあった
2. 総じて、皆 真面目に作業に取り組んでいる。得意分野では、十分に戦力として通用すると思います

きらり賞☆



【2月度受賞の
吉田惇一さん】

昨年6月から、その月最も輝いていた社員に贈る『きらり賞』を設けた。この賞は、仕事上の成果だけでなく、生活面

の向上、会社の雰囲気づくりなど、キラリと光った素晴らしさを表彰状という目に見える形で社員に伝えたいという想いから始まった。表彰式では嬉しそうな笑みがこぼれる。数値化できない、一人ひとりの会社への貢献度を形にして伝えることで、社員が自分の良さを発見、または再認識できる機会にもなりモチベーションを高めることにつながっている。

御園小へ行ってきました

野々市市立御園小学校 4年生の総合的な学習で「パラスポーツと私たちの違い」と題して、庶務Gの城下さんが電動車椅子サッカーの実演と講演を行った。子どもたちは、初めて観る電動車椅子サッカーが想像以上に



スピードと迫力があることに驚いた様子だった。その後、大きなボールを蹴ってパスの体験もした。講演では、障害のこと、サッカーとの出会いやルール、活動の様子、通常足で蹴るボールを私たちはフットガードで蹴るといった違いがあること。ルールや道具は違っても、喜び・悲しみ・努力することはみんなと同じであると同時に、障害があることでできないことがあってもやり方を変えて工夫をすれば、できることもたくさんあると伝えた。「私はサッカーを通じて多くの仲間と出会い、楽しいことやチャレンジすることを学ばせてもらっている。

みんなも何か得意なこと、好きなことを見つけて自分の世界を広げて欲しい」と想いを語った。

何かができることよりも何かを続けていくほうがすごいことだと分かりました。障害のあるなしに関係なく、関わりあえるようにしたいです。

最初は何か怖いと思ったけど、城下さんのお話を聞いたら、全然こわくなくなり、逆に日本に1人でも障害者がいなかったら、その方が逆に怖いとわかりました。

シュートやいろいろなプレーをみてとてもカッコよかった。

横浜F・マリノスカップ 準優勝!

庶務グループ 城下由香里さん

(給食発注・名刺・国内出張切符手配ほか 担当)

2020年1月18日・19日、横浜にて、「横浜F・マリノスカップ第17回電動車椅子サッカー大会」が開催され、庶務Gの城下さんが所属するチーム「金沢ベストブラザーズ」が初参戦した。強豪揃いのチームばかりで、白熱した試合展開の中、粘りとセットプレーからのシュートがズバツと決まり、チームは見事、準優勝を成し遂げた。「結果が出せたことで選手、スタッフみんなの努力が報われた瞬間だった。大会に協賛くださったジャスコ(株)の方々は選手が試合に必要な金属製のフットガードの脱着や管理、修理までをもお手伝いしてくださり、まるでF1のピットに入るような感覚だった。大会で我々選手が何を助



『城下さん・息子さん・マリノスケの3ショット!』



『F1のピットに入るかのよう!』

けてほしいかを自ら考え、準備してくださったおかげでとても気持ちよく臨めた大会だった。たくさんの方に観ていただき、温かい支援もいっぱい感謝の連続だった」と熱く振り返った。

石川陸協から表彰!

作業グループ 新崎一路さん

(リードホルダ・ZW ニップルホルダ他 担当)

一般財団法人石川陸協の新年互例会・表彰式の障害者部門で、新崎一路さん(作業G)が全国大会入賞者として表彰された。昨年に引き続いての表彰となり、新崎さんは、2年続けて表彰されると思っていたので、びっくりした。これからは練習を頑張る、県内や県外の大会に出場して良い結果を出したい。そしてまた表彰されるように頑張りたい!と意気込みを語った。



社内成人式

生産作業グループ

改田元希さん

(組立ライン供給用ボルトの
ピッキング&ASSY担当)



1月25日、今年20歳を迎える津田駒従業員8名と改田元希さんに、社内成人式が行われた。春風クラブ(陸上)に所属し、社外活動にも励む改田さん。「積極的に取り組んでいきたい!」と、これからの抱負を語った

新メンバー紹介!

2019年10月入社

名前:中川 大也

(なかがわだいや)

平成6年7月18日生

趣味:鉄道

(乗り鉄・撮り鉄)

走ること、パソコン

特技:ギター演奏(エレキギター・アコースティックギター)

担当作業:ポビンホルダの補強プレート接着

抱負:早く仕事を覚えて、自分の仕事に責任と誇りを持ち、ふぁみーゆに貢献していきたい!



長い間お疲れさまでした

作業グループ 岡本孝一さん

<2020年3月雇用終了>

【ふぁみーゆの思い出】

毎年行われるBBQ大会。社長をはじめ役員の方々、親会社の方々、社員の家族の方たちとコミュニケーションをとれたこと。

【後輩社員に送る言葉】

一人ひとりがふぁみーゆを支える存在です!自分の可能性を信じて挑戦していきましょう!

《スタッフより》設立当初より、私たちスタッフ同様に社員たちを優しく見守ってくれた岡本さん。9年間お疲れさまでした。これからも益々のご活躍を期待しています!

